

みなさんおはようございます。

暖かな陽気に校庭の木々も芽吹き初め、躍動の季節を迎えました。本日午後に新入生を迎え、全校の生徒、教職員がそろい、名実ともに新年度がスタートすることになります。

臨時休校になって1か月以上がたちましたが、みなさんは、この期間をどのように過ごしてきたでしょうか。本当であれば授業を受けたり、部活動に汗を流したり、クラスの人々と他愛もない会話で盛り上がりたりしていたことでしょう。しかし、今回の新型コロナウイルス感染症の拡大に伴いそれらの光景はあっという間になくなってしまいました。卒業式も卒業生と保護者・教職員だけという異例な式となりました。「この不安が去ったあと晴れやかな気持ちで在校生と会って下さい」と卒業生には伝えています。

みなさんがいない学校は味気ないものでした。当たり前の光景が、いかに大切なものなのかを思い知らされた時間でもありました。みなさんも「友だち」、「授業」、「部活動」、そして「学校」、これらが本当に本当に大切なものだと思ったと思います。令和2年度のスタートにあたり、これからも、当たり前のことを、つまり、友だちや学校での様々な活動を大切にしたいと思えます。そして、それらが大切にできた時、感謝の心が生まれ、成長につながっていくのだと思えますし、自分や周りの人のより良い将来を形作っていくことにつながるのだと思えます。

いろいろ申しましたが、やはり今、一番大切なことは新型コロナウイルスに「感染しない・うつさない」ことだと思います。徹底した対策で感染症の脅威に打ち勝ちましょう。具体的な対策はあとから説明があります。

高等学校3年間は長い人生の中のたった3年間の通過点にしすぎませんが大切なことを学ぶ貴重な3年間です。不安は続きそうですが、そういう時だからこそ不安で心を疲弊させるのではなく、正しい情報を見定め、今できることを着実にやっていきましょう。

ノートルダム清心学園理事長を務めた、故渡辺和子さんの著書「置かれた場所で咲きなさい」の中に、次のような言葉があります。

「置かれたところこそが、今のあなたの居場所なのです。咲けない時は、根を下へ下へと降ろしましょう。」

今は、様々な制約もあり、置かれた場所でさえも「咲く」ことができない時かもしれません。でも、あきらめずより大きい花を咲かせようと努力することが大切なのです。現状に不満を言ったり、不安に駆られたりするのではなく、将来の自分や周りの人のために力を蓄えることが大切なのです。今は下へ下へと根を張って、地中から十分栄養を取り込み、やがて美しい大きな花を咲かせるために準備をする時かもしれません。みなさんがそれぞれ、今できることを見つけ、工夫しながら精一杯頑張ってくれることを期待しています。

今まで何度も言いましたが「商業」で大切なのは「信頼」。しかし、現在、新型コロナウイルス感染症の拡大によって、世界中の人々が人と人とのつながりや信頼さえも断ち切られてしまう状況になりつつあります。しかし、我々はここで負けるわけにはいきません。可能な限りの対策を考え、自らを、そして大切な人を守るしかありません。さらに、希望を失わず、このような状況の中でもできることを冷静に、粛々と進めていくしかありません。そうすることが失われかけた「信頼」を取り戻すことにつながるのだと思います。そして、その先には自分の目標や夢が待っているはずですよ。津商で学ぶことを明るい未来とよりよい社会のために生かして下さい。

自己中心的ではなく周りの人のことを考える。これこそが津商生です。

ウイルスも我々の「思い」まで断ち切ることはできません。

今後も感染の広がりについては予断を許さない状況が続きますが、予防と心身の健康に十分気を付けて学校生活を送ってください。「チーム津商」「We are TSUSHO」頑張りましょう！！

スタートは厳しいものですが、今年度が皆さんにとって素晴らしい年になることを祈念し、式辞とします。